

2020年度 日本工学院八王子専門学校											
スポーツ健康学科三年制 ビジネスコース											
中級ダイビング実習											
対象	2年次	開講期	後期	区分	選※	種別	実習	時間数	30	単位	1
担当教員	平川大輔			実務 経験	有	職種	ダイビングインストラクター				
授業概要											
スクーバダイビング「アドバンスダイバー」資格取得のために必要な知識技術について、講義と海洋実習を通じて学びます。											
到達目標											
アドバンスド・オープンウォーターダイバー（中級ランク）取得を目指す。初級レベルを確実に実施でき、水中航海術（アンダーウォーターナビゲーション）、狭視界下（ナイトダイビング）ダイビング、ボートダイビング、大深度潜水、作業潜水など多岐にわたる潜水技術を身につける。また、集団生活をする事により、学生同士の連帯感や自己責任を果たすことによって人間力の向上を図り、社会人として必要な知識を習得する。											
授業方法											
・アドバンスド・オープンウォーターダイバーに必要な知識と技術を期間内に習得します											
成績評価方法											
成績評価については、授業中の参加姿勢/学習意欲（リーダーシップ、積極性、学習に対する向上努力など）40%、試験結果（実技試験/中間/期末/定期的な提出物など）30%、出席状況30%とし、授業内における達成度・到達度を総合的に判断して行います。なお、成績評価を受けるためには、全授業の75%以上の出席が必要となります。											
履修上の注意											
・初級ダイビング資格取得者のみ履修することができます。・ダイビング器材は乱暴に扱わず、実習中は大切に使用してください。・実習中の健康管理には十分気を付けてください。											
教科書教材											
ダイブマニュアルⅠ、Ⅱ/A.O.W用サブマニュアル											
回数	授業計画										
第1回	【講義】高気圧障害：潜水障害に対する正確な知識、予防法を習得します										
第2回	【講義】海洋学：世界中の海に対応できる知識を習得します										
第3回	【講義】気象学：天気について、天候と海洋の相互関係を知る事により、海況変化を判断できる知識を習得します										

## 中級ダイビング実習

第4回	【講義】海中生物：生態を熟知していないと思いがけない危害を加えられます。習性と危険性を理解します
第5回	【講義】ダイビング事故：ダイビング事故の傾向分析とその対策、安全潜水に必要な知識を習得します
第6回	【講義】救急法、CPR：倒れている人をそのまま放置せず、人命救助に必要な知識と技術を習得します
第7回	【スキン&スクーバ】器材の取り扱い&チェック&セッティング&リセット&水洗い：ダイビング器材の取扱、チェック方法、洗い方など基礎から応用までを習得します
第8回	【スキン】エントリー&エキジット：スキンドайビングでの入水・出水法を習得します
第9回	【スキン】スノーケル呼吸&クリア：スノーケル呼吸法とクリアー法の基本技術と応用技術を習得します
第10回	【スキン】マスククリア（マスクなし呼吸、マスク投げ）：スキンドайビング装備でのマスククリアーの基本技術と応用技術を習得します
第11回	【スキン】フィンワーク①スノーケルクリア併用②マスクなし移動③片フィン併用：スキンドайビング装備での水面移動、アクシデント対処法を習得します
第12回	【スキン】立ち泳ぎ&浮力調整：スキンドайビング装備でのフィンの使い方、浮力調整技術を習得します
第13回	【スキン：深域】潜降（ヘッドファースト）／浮上、マスククリア：水深5m程度への垂直潜水法を習得します。
第14回	【スクーバ】水面移動（スキン①②③同様）：スクーバダイビング基本技術の復習をします
第15回	【スクーバ】水中動作①潜降浮上②遊泳姿勢&フィンワーク③中性浮力：スクーバダイビング基本技術の復習をします

2020年度 日本工学院八王子専門学校

スポーツ健康学科三年制 ビジネスコース

中級ダイビング実習

第16回

【スクーバ】コンパスナビゲーション、サーチ&リカバリー：コンパスを使用し水中での進路確保と自分の位置を把握、また正確に使いこなす技術を習得します

第17回

【スクーバ】ディープダイビング、ナイトダイビング：大深度潜水の人体への影響を理解し、安全にダイビングをするための技術を習得します

第18回

【レスキュー】スキンレスキュー：沖合で溺れている人の救助方法を習得します